

柑芦会 本部 ニュース

第 23 号 2021. 6. 1.



wakayama
univ.

国立大学法人
和歌山大学

—そして ここから—



1. 寄稿①



ご挨拶

経済学部 副学部長

教授 金川 めぐみ

平素より経済学部ならびに和歌山大学に対するご支援ご協力に感謝申し上げます。

経済学部で社会保障法・社会福祉法制を研究している金川めぐみ（かながわ・めぐみ）と申します。この「柑芦会 本部 ニュース」への寄稿として、私が和歌山大学にて現在、取り組んでいる活動を 4 点、ご紹介させていただきます。

1 点目は研究活動です。2021 年 3 月に博士論文「日本におけるひとり親家庭の福祉法政策の総合的検討—公的ドゥーリアを軸に考える社会福祉の権利性—」を上梓し、龍谷大学から博士（法学）を授与されました。この間、女性活躍推進法も制定され、女性活躍が政策的にも進められている一方、日本ではひとり親家庭の 2 世帯に 1 世帯が相対的貧困状態にあります。諸外国と比較しても日本のひとり親家庭の貧困状態はかなり問題視される状況です。ではひとり親家庭の福祉法政策の課題はどのようなもので、それをいかに克服するかが目下の私の研究課題です。

2 点目は副学部長ならびに経済学部入試委員長としての活動です。少子化による 18 歳人口の減少の中、伝統ある和歌山大学経済学部の良さをアピールしつつ、いかに優秀な学生を確保できるかを入試委員会で日々協議・検討しています。引き続き柑芦会の皆さま方には様々な点からご援助を賜ることもあろうかと思いますが、なにとぞよろしくお願いいたします。

3 点目は学長補佐ならびに男女共同参画推進室長としての活動です。この間、和歌山大学ではダイバーシティの観点から大学における男女共同参画を積極的に進めています。2020 年の夏に柑芦会からのご寄付により新設しました西 2 号館（経済学部講義棟）の女性トイレは、ダイバーシティの観点からも配慮された設備であり、学生ならびに教職員から大変好評を得ております。このような学内環境整備とともに、研修等を通じての大学における男女共同参画の知識の普及と推進に力をいれておりま

す。

4 点目は地域貢献活動です。この間、和歌山県内のいくつかの市町村において、地域福祉活動の推進を、学生と地域住民の連携のもと進めております。コロナ禍の中、学生と共に地域福祉の現場に赴くのは中止をしておりますが、オンライン等を活用しつつ、大学の学生と地域住民の学修・協働の場を開発し、地域貢献につなげることができればと考えております。このように和歌山大学の各メンバーがさまざまな形で地域とつながり連携していくことが、大学として、得難い重要な財産であると考えています。

最後になりましたが、今後とも、経済学部ならびに和歌山大学へのかかわらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



経済学部女性トイレ外観（タイトル：多様性に配慮された女性トイレ）

1. 寄稿一②



柑芦会東北支部の状況と
同窓会の活用について
東北支部 支部長
菊池 静（大46）

現在柑芦会各支部では最年少となっております。東北支部の菊池です。理事の方では私より後輩の方のお名前はちらほら見受けられつつありますが、支部長ではまだ最年少のようです。

同期の中には、支部の幹事長や柑芦会理事に就任されている方も見受けられますが、本来もっと上の先輩方がなるべき支部長という役職に私がいるところに、地方支部の現状が透けて見えるかと思えます。

東北支部は東北6県をカバーし、面積では北海道支部に次ぐ大きさとなります。会員名簿を見ると、仙台市および周辺部居住の方が多く、全国区企業の東北支店・仙台支店に勤務されている方が当地を

気に入る居を構えるケースも見受けられます。残念ながら、東北から和歌山大学経済学部への進学は殆どない状態ですので、今後も会員数の増加は見込めない地域となっております。

私は縁あって17年ほど前から岩手県庁に奉職しており、現在は釜石市にある沿岸広域振興局という部署で産業振興系統の業務を担当しております。

同世代の方であればご理解いただけるとは思いますが、旧高商はもちろん、旧2期校時代を過ごされた先輩方と異なり、たまたま入ったのが和歌山大学であり、就職でも現在の学生のように手厚い大学の支援を受けたわけでもなく…といった感じで、強い愛着を持つきっかけのないまま、現在まで過ごされている方が大半だと感じています。

そんな私が大学との関わりをもったきっかけは、10年前の東日本大震災からとなります。当時岩手県南広域振興局で農政担当をしておりましたが、グリーンツーリズムの対象である小中学生の修学旅行が全滅したことをきっかけに、母校を頼り、観光学部の協力を得て「奥州農村ワーキングホリデー」という事業を展開することができました。学生が自腹で和歌山から岩手まで来て、農家に民泊して農業を手伝うものです。今はコロナ禍でなかなか交流は難しいですが、先日もオンラインでセミナーを行うなど、交流は継続しており、卒業生も岩手に来た際には、私を訪ねてくる方もいらっしゃいます。

また、諸先輩方との交流により、人生においても様々な学びを得ることができております。仕事や家庭を持ちながらなので、時間のやりくりは大変ですが、充実した人間関係を構築することができていると思います。

経済学部も柑芦会も100周年を間近に控える中で、次の10年なのか100年なのか、先を見据えた活動をされるとは思いますが、微力ではございますが、その活動のお手伝いできればと思っています。

2. 会員だより

《コロナ禍で頑張っている柑芦会会員のご紹介》

柑芦編集委員長 穂永千秋 (大18)

日本各地でコロナ禍の対応に日夜従事されている医療関係の皆様には、本当に頭の下がる思いです。変異ウィルスに変わった第4波の中で2回目の緊急事態宣言が発出され、ワクチン接種が医療関係者から高齢者へと広がる中、アフターコロナを見据えた対応について、「皆様方のご意見、お気持ちを」と原稿依頼しておりました5月末に、関西のある支部の会員の方で、まさに最前線での医療を支える活動をされている方がおられることが解りました。柑芦会員でこのような方がいらっしゃることは、驚きと共に、尊敬の念を抱かずにはおれません。

(ご本人の名前の特定に係る要素は伏せるという条件で了解を得たうえで) ご本人からの原稿依頼ご辞退のメールをお借りして、皆様方にご紹介させていただきます。

『夜分遅くにすみません。大変ご無沙汰いたしております。』

2020年の4月に関西の某総合病院に転職いたしました。日々コロナの患者を受け入れるために、物品の調達や看護師の派遣契約、病棟の入院調整、清掃業者との打ち合わせに加え、現在決算作業に追われております。

ここ数ヶ月は毎月 100 時間程度の残業をしており、土日も出勤、睡眠時間は 4 時間未満という激務の中、子育てとの両立で倒れそうです。

今、目の前の患者さんを救う事、日々の業務を何とか回すことに必死で、「柑芦」の特集・『コロナ後の展望』を考える余裕もないのが本音です。寄稿の依頼を頂き大変ありがたいことですが、ご理解賜りますようお願いいたします。』

この激務の中、どうかご自身及びご家族の皆様が健康のままこの事態を乗り切って行かれますよう、切に祈るばかりです。

3. クラブ活動

和大硬式野球部 全国大会出場決定

皆さまもご承知のとおり、和歌山大学硬式野球部は近畿学生野球連盟の 1 部リーグにおいて 4 年ぶり 2 度目の全国学生野球選手権大会への出場を果たしました。

これについて、和歌山大学硬式野球部の竹林部長（観光学部教授）から添付のような要請状が届いております。

柑芦会としても、できるかぎりの応援をしたいと考えていますが、各位におかれましても是非とも精一杯の応援をしてあげていただきますよう、よろしく願いいたします。

2021年5月25日

柑芦会 会長 北村修一

2021年5月吉日

柑芦会の皆さま

和歌山大学硬式野球部第70回 全日本大学野球選手権記念大会出場に伴うご支援のお願い

拝啓

向暑の候、皆様におかれましては益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は和歌山大学硬式野球部の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、本学硬式野球部は令和3年度近畿学生野球連盟 部春季リーグ代表決定戦を勝ち抜き、4年ぶり2度目の全日本大学野球選手権記念大会出場という壮举を成し遂げました。関係者一同慶びとするところであります。偏に、皆様のご支援ご声援の賜と深く感謝しております。この上は、選手・スタッフ一同、「日本一」になるというチームの目標に向かって全力を尽くして参ります。

つきましては、選手たちの出場経費やその他諸活動資金として多額の経費が必要となりますので、広く皆様にご芳志をお願いいたしたく存じます。

恐縮至極に存じますが、ご支援とご声援を賜りますよう伏してお願い申し上げます。

敬具

和歌山大学硬式野球部
部長竹林 明（観光学部教授）

記

- ・振込先 紀陽銀行 本店営業部普通 2315146
- ・口座名 和歌山大学硬式野球部部長竹林明
- ・お手数をおかけいたしますが下記の内容をご明記の上メールまたは郵送にてお知らせ下さい。メールの場合、件名に「硬式野球部寄付」とご記入ください。よろしく願いいたします。

- 1.ご氏名 ふりがな
- 2.ご連絡先 住所・電話番号
- 3.ご所属（部員とのご関係か、「一般」とご記入ください）
- 4.ご寄付いただいた金額
- 5.ご寄付の芳名帳への掲載の可否
- 6.和歌山大学硬式野球部へメッセージ等ございましたら、ぜひお願いいたします。また、領収書が必要な場合は併せてお知らせください。

・送り先：和歌山大学硬式野球部 jingukifu89@gmail.com

※ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】和歌山大学硬式野球部 主務 石丸日和

4. 事務局より

柑芦会・財団 定例理事会・評議員会の開催さる

開催日時： 2021年5月15日（土）13:00～16:20

形式： オンライン（Zoom方式）

コロナ禍による緊急事態の為、オンラインによる会議を実施しました。

参加状況 参加対象者 78名、Web参加者 37名、事前賛否確認者 61名＋委任状 2名＝計 63名

来賓：2名（阿部秀二郎学部長補佐、青木稔基金事務室長）

事務局：3名（浦事務局長、増田、由井）

Web参加者総数：42名

2020年度の活動報告・決算案及び2021年度の事業計画及び予算案の他、「柑芦会 EC奨学金制度」の導入と経済学部創立100周年記念事業について審議され、すべて議決されました。

「柑芦会 EC奨学金制度」の導入について

経済学部の「エキスパート・コース（EC）生」で、和歌山大学経済研究科に入学する特に優秀な学生に対し奨学金を給付する。2022年度よりスタート

金額は一人年間27万円（授業料の半額程度）。

対象人数 22年度1名、23年度2名、24年度4名、26年度以降6名の予定

経済学部創立100周年記念事業について

2022年10月に経済学部設立100周年を迎えます。100周年を迎えて記念事業としてどのようなことをするか意見を出し合いました。（現在、具体的には何も決まっていません。）

100周年行事については、今後具体的な内容を検討していくという方針について決議され、経済学部と柑芦会による「実行委員会」を設置することが決まりました。

<参考>経済学部・柑芦会の設立時期と、100周年到達時期

1922年（大正11年）10月 和歌山高等商業学校設立→2022年10月設立100周年
1923年（大正12年）4月 和歌山高等商業学校開校 →2023年4月開校100周年
1926年（大正15年）3月 柑芦会発足 →2026年3月発足100周年

柑芦誌（52号）特集記事 寄稿募集

柑芦誌（52号、発行2021年10月1日）の編集の時期を迎えました。52号の特集として「コロナ禍における現状と今後」を予定しています。柑芦会会員皆様から広く原稿を募集いたします。振るっての寄稿をお待ちいたします。

◆機構要項

- ①特集 「コロナ禍における現状と今後」
- ②企画意図 コロナ後の展望が開けない中、「従来とは何がどのように変わったのか」「我々は今後どう対応すればよいか」ということをそれぞれの立場で自由にご意見を出していただきたく企画しました。
- ③原稿 ・800～1,200字 ワード（ほぼ柑芦誌1頁分） 標題を記載してください。
・写真 1～2枚（顔写真含む）
- ④期限 2021年7月20日（火）
- ⑤原稿送り先 柑芦会 本部事務局宛
メールアドレス：honbu@kourokai.com

柑芦編集委員会 柑芦会 本部事務局

和歌山大学経済学部同窓会 柑芦会 本部 事務局

〒540-0012 大阪市中央区谷町 4-4-17 ロイヤルタワー大阪谷町 207号

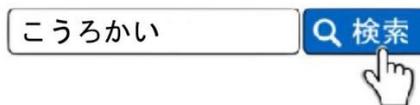
Tel:06-6941-4986 Fax:06-6947-7925

E-Mail: honbu@kourokai.com URL : <http://www.kourokai.com/honbu/>



フェイスブック

「柑芦会オフィシャルグループ」



ホームページ「柑芦会」
